

経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県高梁市 国保成羽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
30,648	8,307	第2種該当	10：1	

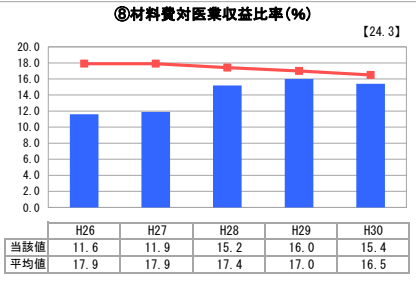
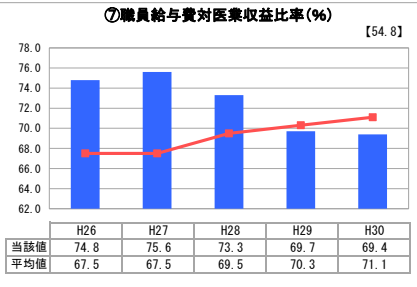
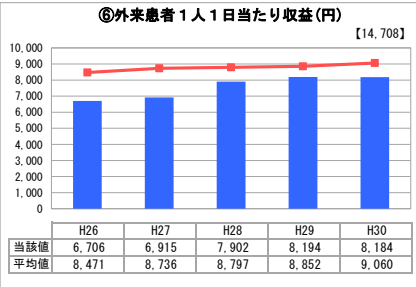
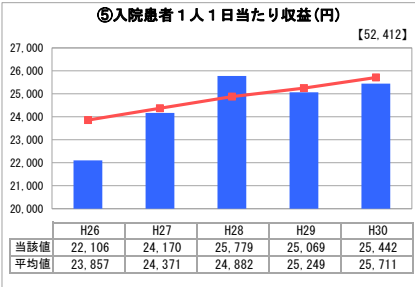
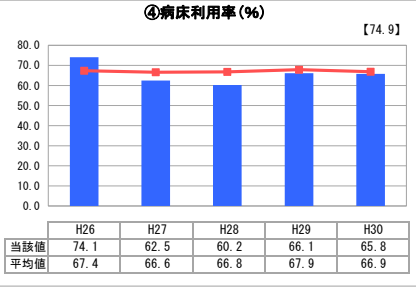
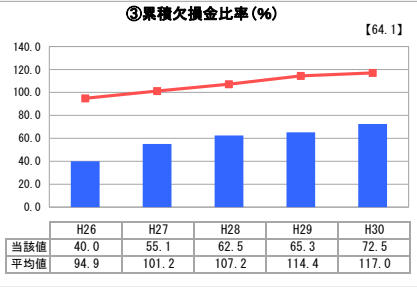
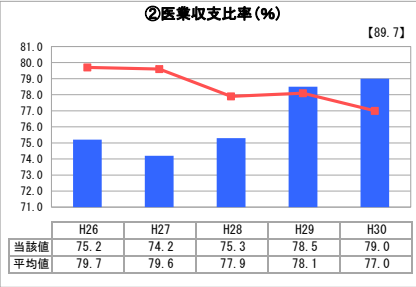
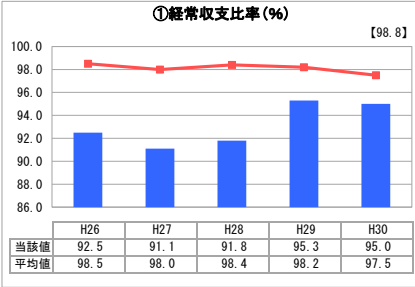
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

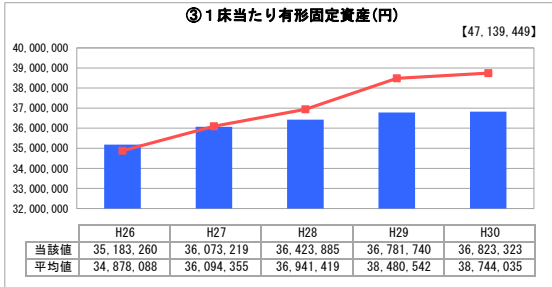
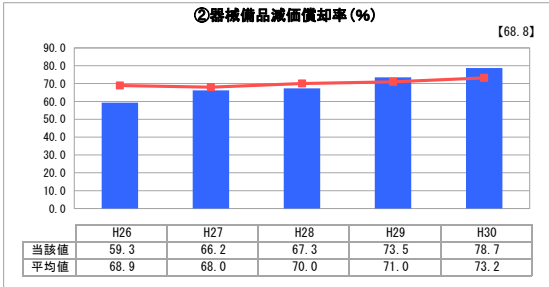
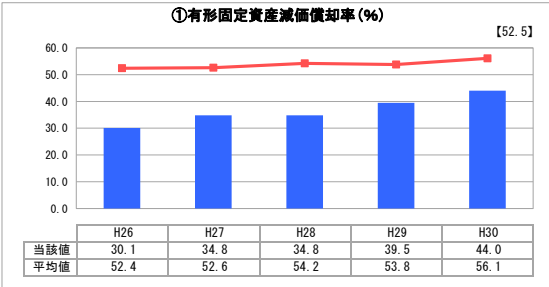
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	96
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
54	42	96

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

○国民健康保険診療施設として、本市における医療・保健・介護・福祉サービスまでを総合的、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の拠点として活動する役割
○へき地医療拠点病院として、民間医療機関の立地が困難な過疎地域における一般医療を提供する役割
○二次救急医療に係る病院群輪番制病院としての役割
○附属診療所の運営等不採算部門に関わる医療を提供する役割
○医療ネットワーク「晴れやかネット」や疾患別地域連携バスを活用した病病・病診連携を強化する役割
○医師、看護師、コメディカル職、医療事務職等の研修（実習）に寄与する役割
○人間ドックや事業所健診、特定健診、がん検診、医療相談等住民の保健衛生に寄与する役割
○災害発生時における医療救護活動や市の医療救護班としての役割

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院は、平成24年度における改革に伴う建物・機械器具の減価償却費の増大や、5箇所の附属診療所の運営管理、職員の高齢化による給与水準の上昇、医療圏内の介護施設の増床による入院患者の減少等により、経常収支比率は、類似病院平均値を下回る非常に厳しい経営状況となっています。

こうした状況を受けて、平成29年3月に策定した「高梁市国民健康保険成羽病院改革プラン」に基づいた改革を進めているところです。

今後も、地域における役割を果たしていくとともに、地域において必要な医療を安定的・継続的に提供していくためには、最も重要な課題である医師の確保とともに、経営の健全性・効率性を求めていきます。

2. 老朽化の状況について

当院は、現在本館を平成24年度に建て替えており、また旧施設を使用しているMRⅠ棟も、本館建設と同時に改修していることから、施設の老朽化については問題はなく、有形固定資産減価償却率は全国平均よりも低くなっています。

しかし経常収支比率は100%を下回っていることから、「高梁市国民健康保険成羽病院改革プラン」に基づいた改革を進めているところです。

全体総括

当院は、高齢化率の著しく高い高梁市西部地域における医療を担う唯一の公立病院であり、人口減少や少子高齢化の急速な進展、生活習慣病の増加等による疾病構造の変化、医療の高度化・専門化等、医療環境が大きく変化する中において、地域医療を確保するための公立病院としての重要な役割を果たしてきていますが、経営は厳しい状況が続いています。

こうした中で、当院が行うための指針とするため、「高梁市国民健康保険成羽病院改革プラン」を策定し、各種数値目標を達成するとともに、持続可能性を高めていくため、具体的取り組みを計画的に進めていきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。